



井高だより

園芸科・家政科の卒業生による 進路アドバイス

大高奈津美 園芸科 新吉中出身
ケアハウス四季が丘勤務



私が進路を決めたきっかけは、人を助けるような仕事に就きたいと思っていました。

福祉施設の偕楽園に授業の一貫で訪れたとき、施設の方から感謝の言葉をいただき、人のために動くことの嬉しさを知りました。そのことで私も介護士になりたいと思うようになりました。

大高さんは在学中、農業クラブの役員を経験し、地域交流活動にも積極的に取り組むなど、様々な場面で活躍していました。



私は今後、介護福祉士になるために実務経験を積み、資格取得のために働きたいと思っています。

さらに、介護福祉士だけでなく、ケアマネジャーや認知症介助士などといった資格取得を積極的に頑張りたいと思います。また、勉強で身につけた知識などを活かして、笑顔を絶やさず明るい環境にしていきたいと思っています。

坂野彩加 家政科 井原中出身
川崎医療福祉大学 子ども医療福祉学科



坂野さんは、フードデザイン類型で食物について専門的に学びました。また、保育重視型を選択し、実習など校外を通して保育の内容について学んでいます。

私は川崎医療福祉大学へ進学しました。私の所属している子ども医療福祉学科は、医療保育、ソーシャルワークに強い子ども支援者を目指す学科です。

私が当学を受験しようとしたきっかけは、高校二年生の時に当学の進路ガイダンスを受けたことです。そこで、最近では病児や発達障がい児が増えてきているため、病气や発達障がいなどを正しく理解し、適切に支援をする必要があることを知りました。他大学のカリキュラムにはない、学習や実習を経て障がいのある子

どもを優しく支援できるようになりたいと思っています。

私が、進路実現のために頑張ったことは、努力を重ねることです。合格するためには、その学校または企業が求める人材でなければなりません。不安や緊張の中、試験で力を出し切るために繰り返し面接練習をしたり、基礎学力を身に付けたりして、自信を付けてください。

皆さんの思い描く進路が実現するよう応援しています。

